

《生きもので季節にふれる》小さくてかわいい「イイダコ」を展示 実は 2,000 年以上前から馴染み深い生きものです



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、館内 1 階の「わざにふれる」ゾーンにて、イイダコ(大きさ約 5 cm、10 匹予定)を 2023 年 10 月 28 日(土)から 2024 年 2 月中旬までの期間限定で展示いたします。

イイダコは、胴(頭のように見える部分)の大きさが約 5 cm、腕を広げても全長約 30 cm とタコの中では小型の種類です。イイとは「飯」のことで、卵の塊がご飯粒のように見えることからこの名がつけられました。晩秋から春にかけて産卵期を迎え、卵を抱えたメスが“子持ちダコ”の名で、古くからこの時期の味覚として親しまれてきました。

また、イイダコは特に大阪府や兵庫県と非常に古くからつながりの深い生きものです。大阪府和泉市や泉大津市、兵庫県明石市や尼崎市、淡路島など、大阪湾周辺に点在する 2,000 年以上前の弥生時代の遺跡から、イイダコ漁に使われたと考えられる小さなタコつぼが多数発掘されています。

今回の展示では、大阪府立弥生文化博物館の協力で、和泉市と泉大津市にまたがる池上曾根遺跡で発掘された弥生時代のイイダコつぼの実物も展示いたします。



大阪府和泉市・泉大津市の池上曾根遺跡にて発掘された弥生時代のイイダコつぼ

ニフレルでイイダコを展示するのは 2021 年 12 月、2022 年 11 月に続き 3 回目です。

【本件に関する問い合わせ先】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

【イイダコの展示について】

《展示期間》2023年10月28日(土)～2024年2月中旬(予定)

《展示場所》1階「わざにふれる」ゾーン

《展示数》10匹予定

《協力》大阪府立弥生文化博物館

《お問い合わせ》ニフレルインフォメーション

TEL:0570-022060(ナビダイヤル)

※生きものの状況により予告なく展示を変更または中止する場合があります。



《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名称】 NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)

【所在地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】 平日 10:00～18:00

土・日・祝 9:30～19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休館日】 年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン)

ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)

ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐車場】 約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)